

2 滞納への厳しい処置について

町税、国保税、住宅新築資金等貸付金、町営住宅使用料及び保育料の滞納額の収納率等は、次のとおりです。

		町 税	国保税	住宅新築 資金等貸付金	町営住宅 使用料	保育料
滞納額の 収納率 (%)	19 年度	10.1	8.3	3.3	21.3	16.0
	20 年度	20.0	12.6	3.5	18.6	19.5
	21 年度	17.0	10.9	4.4	19.2	18.8
滞納額 (千円)	20 年度	141,899	192,903	158,759	15,844	10,327
	21 年度	137,183	192,035	159,744	16,887	11,913
対前年度 比較	増減額(千円)	△ 4,716	△ 868	985	1,043	1,586
	増減率(%)	△ 3.3	△ 0.4	0.6	6.6	15.4

- ① 滞納額の収納率は、20%以下でいずれも低い状態ですが、町税の収納率は、17.0%で前年度より3.0ポイント低く、国保税の収納率は、10.9%で前年度より1.7ポイント低くなっていますが、平成19年度より上がっています。
また滞納額は、町税、国保税とも前年度より減です。これは、前年度に引き続き本年度「不動産：23件、預金：139件」の差押を行ったためと思われます。
- ② 住宅新築等資金貸付金の収納率は、4.4%で前年度より0.9ポイント向上していますが、かなり低い状態です。
- ③ 町営住宅使用料の収納率は、19.2%で前年度より0.6ポイント向上しています。
- ④ 保育料の収納率は、18.8%で前年度より0.7ポイント低くなっています。保育料の滞納額は、平成17年頃から年々増えて平成21年度末11,913千円になり、前年度より1,586千円(15.4%)増です。
- ⑤ 引き続き、公正を期するためにも町として、法的滞納処分を含めた厳しい姿勢が必要です。

3 水道事業について

- ① 経営状況即ち当年度純利益は40,407千円、経営資本営業利益率2.94%で収益も良く財務状況は、流動性も安全性もあり、資産状態は、企業債償還元金対減価償却費比率が、100%を若干超えています。問題ではありません。

しかしながら、有収率88.9%が全国平均90.1%より1.2ポイント低いのは、漏水量が多いことによります。

- ② 全般的に年間指標等と比較すると良好な状態といえますが、引続き水源の円滑な使用、施設の老朽化の整備に應ずる資金目標の確立、人件費に係わる他市町の研修、漏水調査の強化、安全な給水の保持等に留意し、最大の効果をあげられるよう要望します。